

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	社会医療法人財団 慈泉会					
代表者名	氏名	相澤 孝夫	役職名	理事長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市本庄2-5-1					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	83 医療業				
主たる事業の概要	慈泉会は長野県の松本市に位置し、相澤病院・相澤健康センター・地域在宅医療支援センター・医学研究研修センター・サービス付き高齢者住宅「結」本庄・サービス付き高齢者住宅「結」つかまを運営し、地域に医療・介護を提供しております。 その中心である相澤病院は、24時間365日患者さんの受入を断らない救命救急センターを有するとともに高度先進医療を行うため、がん治療装置である「陽子線治療装置」を導入し地域のがん診療の向上にも寄与しております。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4888	4741	4785		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	9839	9544	9619		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0		
自動車の台数	台	132		134		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	204				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 29 年度		

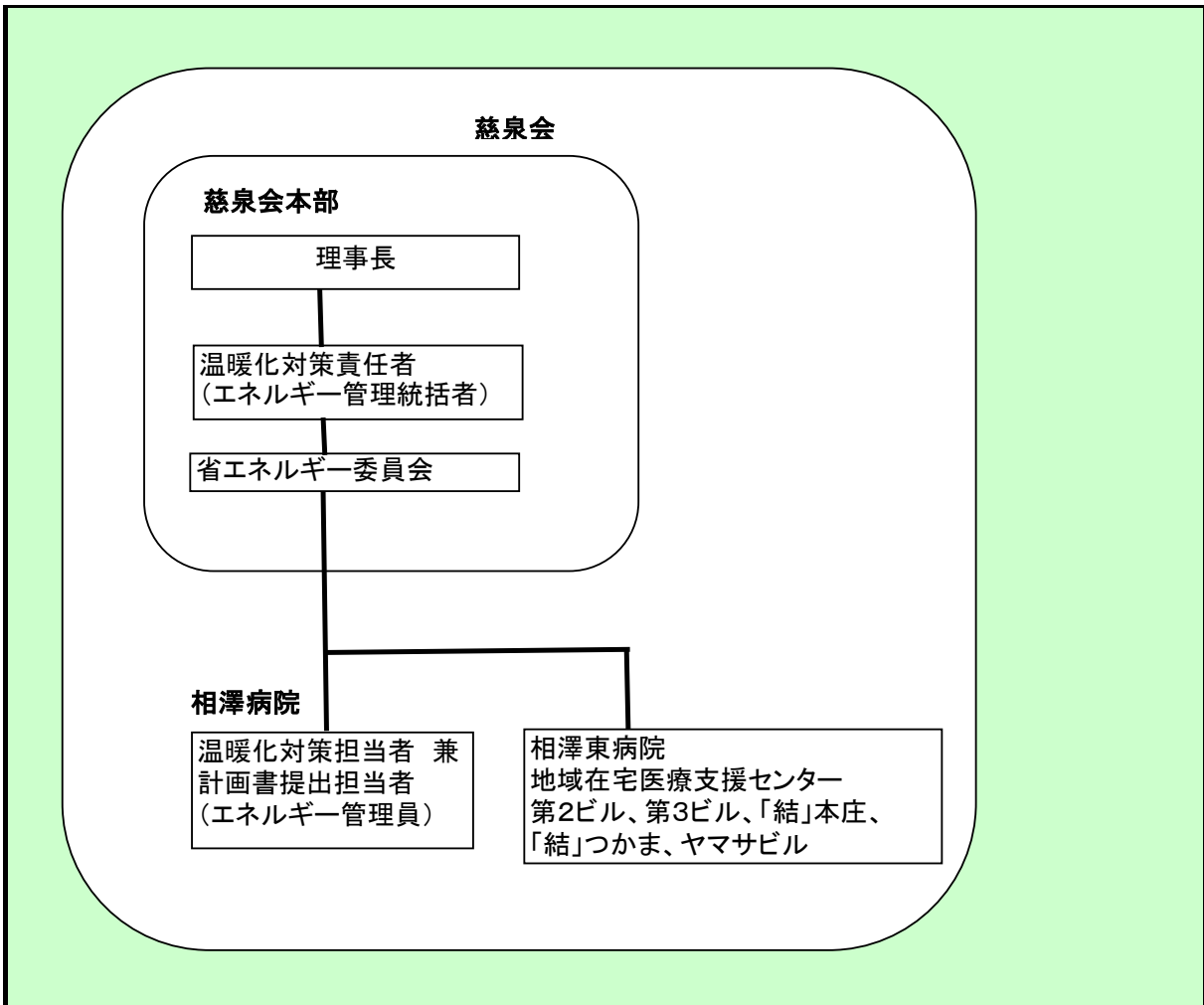
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧要請（事前連絡要）があった場合、審査の上後日開示する。 平日9時～12時 保管部署：総務課 電話番号 0263-33-8600
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

慈泉会全体の排出原単位 年間1%削減を目標とした設備管理を行い、省エネルギー活動を効果的に推進できるように運用する。  
平成29年度から4年間の基本方針として、照明設備を蛍光灯からLEDへ取り替える。LED照明にすることで、二酸化炭素を年間85.5t-CO2/年削減し、3年間で排出原単位3%の削減をします。  
又、「生産数量又は、延床面積その他のエネルギー使用量と密接な関係をもつ値」について、寄与度にて改善状況を把握していましたが、平成28年度に慈泉会全体のエネルギー使用量の90%を構成する相澤病院の病床数が、502床から460床に減少したことより患者数による算出は適正な基準でないと判断しました。これより、適正と考えられる延床面積を基準として使用するようになります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進委員会 (2ヶ月に1回開催)  
施設設備・医療機器品質会議 (毎月2回開催)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	9,839	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	53.42	単位	千㎡	
28年度	調整後排出量	9,796	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	184.19	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	
目標年度	目標排出量	9,544	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	178.66	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>排出原単位を対前年度比、年平均1%の削減を目標にする。            実施事項として、照明器具を蛍光灯からLEDへ切り替える事で、年間85.5t-CO<sub>2</sub>/年の削減をする。            尚、設備機器の更新をする場合には、高効率機器を選定しエネルギー消費量の削減を図る。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	9,619	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	52.22	単位	千㎡	
	調整後排出量	9,562	t-CO <sub>2</sub>	原単位	184.20	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	2.23	%	削減率	(0.01)	%		
排出量等の増減理由	<p>PETセンターのGHPとトモセラピーのエアコンを、高効率EHPエアコンに更新したことが二酸化炭素削減に起因しています。            尚、陽子線治療装置の治療以外での試験照射の件数が減少した事も起因しています。</p>							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	204	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	150201 照明を蛍光灯からLED化の実施。	29~31	256.5		
2	エネ起	170201 コ・ジェネ発電機の高効率運転の実施	29	62	29	62
3	エネ起	330299 トモセラピーの空調設備（エアコン）を高効率の機器に更新する。	29	1	29	1
4	エネ起	330299 PETセンターの空調設備（1号機）をGHPから高効率のエアコンに更新する。	29	7	29	2.8
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	Kw	10	0	10		

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	43		57		
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	8,758	1	8,470				
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0				
1,500k1未満	14	1,081	14	1,149				
合計	15	9,839	15	9,619				

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0		
CH <sub>4</sub>	0	0		
N <sub>2</sub> O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF <sub>6</sub>	0	0		
NF <sub>3</sub>	0	0		
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	9	4		
合計	9	4	0	0
自動車総数	132	134		
次世代車導入割合	6.8	3		

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	看護師寮を2km以内に設置して職員の約28%は徒歩等である。
公共交通機関の利用促進	通勤距離2km以内の職員は自家用車通勤を禁止している。
来客者の交通対策	コミュニティバスを運行している。(病院前停留所を設置している)
物流の合理化	納品時間指定を行い、外来時間と重ならないようすることにより車両の待ち時間の短縮をしている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	県内の緑化及び森林の保全(森林の里親契約)
第一年度実績	県内の緑化及び森林の保全(森林の里親契約)
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	ディスプレイ用スポットライトの消灯、手術室AHユニットの運転時間見直し、手術室7番空調機更新、手術室器材庫空調機の更新	5
その他		